

分野	事業	主な対象者・世代	担当部署	事業概要	令和6年度(4年目)		備考
					事業費	内訳	
1.新しい働き方や仕事の創出							
(1)	女性に寄り添うライフ・ワークサポート社会実装事業(女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業) 【複合施設整備に伴う準備事業】	子育て中の女性、ひとり親家庭	地域拠点整備室	新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、就労等に困難を抱える女性に寄った支援が求められている。このため、働きたいと考えているが子育て等によるブランクにより就職に不安がある女性等を対象としたワークショップ・セミナーや企業ニーズ調査などの事業を試験的に実施し、女性に軸をおいた官民連携ハローワークの設置や企業のアウトソーシング(委託業務化)による女性によるシェアワークの仕組みづくりにつなげていく。	10,194	①委託料:10,194千円	
(2)	地域プレーヤー創出・育成事業 【複合施設整備に伴う準備事業】	起業等を志す若者や女性	地域拠点整備室	多様化・複雑化している地域の課題解決に向けて、市(行政)だけではなく、企業・NPO・住民などを地域の担い手として、その活躍を推進する観点から、社会的事業者及びその支援に取り組む者と行政に求められる役割分担の在り方等について調査・分析を行うとともに、地域ビジネスに高い関心を有する人材の発掘・育成やネットワーク化形成支援を推進する。	10,767	①委託料:10,767千円	
2.地域資源を生かした学びや活動の創出							
(1)	まちラボ学生プロジェクト支援事業 【既存事業の充実※交付金活用】	市外の大学生、市内の高校生	企画政策課	大学のゼミ等が本市を研究フィールドとして活用することを促進するとともに、地元NPO法人等と連携した研究活動を支援する。	900	①補助金:900千円 @300千円×3団体	一般財源で実施
(2)	文化芸術活用による人材ハブ機能促進事業 (アートによる文化振興事業) 【新規事業※交付金活用】	文化芸術に携わる国内外の人材(プロ、大学生)、地元学生	文化振興課	文化と芸術に関連する地域資源を活用した本市への多様な人の流れを生み出すため、人やモノが集うハブ機能を創出する。このことで市民生活に潤いをもたらす市民のシビックプライドの醸成にもつなげる。具体的には、文化芸術に携わる国内外の人材に対して本市での創作や発表、学習の場を提供するとともに、教育的活動を核とした地元学生等との交流を促す。また、本市の文化・歴史等の地域資源をモチーフとした芸術作品を高等教育機関等と連携して製作し、まちなか等に展示する。	2,385	①委託料:2,385千円	
3.新たな住まい・活躍の場の整備							
(1)	市営住宅お試し居住提供事業(「みりよく発信」二地域居住・移住希望者市営住宅提供事業) 【新規事業※交付金活用】	二地域居住、移住を希望する首都圏等の住民	建築住宅課	市営住宅の空き部屋をリニューアルし、二地域居住や移住体験施設として活用する。	2,373	①修繕費:1,000千円 ②賃借料:1,373千円	

分野	事業	主な対象者・世代	担当部署	事業概要	令和6年度(4年目)		備考
					事業費	内訳	
4.地域の魅力発信							
(1)	しらかわ移住魅力発信事業 【新規事業※交付金活用】	二地域居住、移住を希望する首都圏等の住民	企画政策課	インフルエンサーによるお試し移住の実施とその情報を多様なメディアで発信するなどし、移住者の増加と都市住民等との交流を推進する。	7,980	①委託料:7,980千円	
(2)	しらかわ移住コーディネーター配置事業 【既存事業の充実※交付金活用】	二地域居住、移住を希望する首都圏等の住民	企画政策課	移住希望者に対する情報発信や移住者と受入れ地域の仲介役となって定住を伴走型支援し、移住者の増加と都市住民等との交流を推進する。	1,320	①委託料:1,320千円	
5.地域包括ケアの充実・強化							
(1)	いきいき健康ポイントプログラム事業(健康ポイント事業) 【複合施設整備に向けた新規ソフト事業】	18歳以上(高校生を除く)	健康増進課	若い世代や健康づくりに無関心層の健康意識の向上と行動変容を促すため、中心市街地や各地域の公共施設等に体組成計や血圧計等を備えた健康スポットを設置し、ウォーキング、健康診断及び健康教室等の参加を条件にポイントを付与する健康ポイントプログラムを実施し、市民の健康寿命の延伸を図る。健康ポイントプログラムはICTを活用し、利用者の利便性とモチベーションの向上を図る。	15,640	①報酬:1,512千円 ②職員手当等:561千円 ③共済費:371千円 ④旅費(費用弁償):140千円 ⑤消耗品費:590千円 ⑥印刷製本費:1,100千円 ⑦通信運搬費:817千円 ⑧手数料:22千円 ⑨委託料:10,527千円	
(2)	高齢者見守り生活支援事業 【新規事業※交付金活用】	高齢者	高齢福祉課	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりのため、NPO法人や包括支援センターと連携し、高齢者の見守りと買い物支援を実施する。運営スタッフや高齢者同士のコミュニケーションを通じて、「孤立させない」、「日常の楽しみを提供する」、「包括ケアに関する支援メニュー等の情報提供」などにより、健康寿命を延ばすことで生涯現役活躍できる体制を整える。これらにより官民連携による地域包括ケアシステムの深化、推進を図る。	1,217	①委託料:1,217千円 (サロン巡回委託料)	
合計					52,776	千円	
交付金額					17,292	千円	

県連携事業

令和6年度地方創生推進交付金活用事業

区分	事業名	主な対象者・世代	担当部署	事業概要	令和6年度		
					事業費	交付金額	内訳
2022 新規	スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト 【市事業名】 ボッチャ推進事業	市民、小中学生	生涯学習 スポーツ課	日本ボッチャ協会との協定を締結していること・東京2020オリンピック・パラリンピックボッチャ日本代表監督の在住地が本市であることなどから、ユニバーサルスポーツの中でもボッチャに特化した取組を実施していく。障がい者と健常者の双方を対象に、小中学校向け体験会や指導者向け講習会の実施、大会運営のための日本ボッチャ協会公認サポーター養成、市民総合体育大会ボッチャ競技や市民ボッチャ大会の実施、小中学校・市民体育館へのボッチャボールセットの配置を行う。	1,179	555	1,110千円 【ソフト事業】 報償費 767千円 消耗品費 123千円 印刷製本費 142千円 食糧費 53千円 保険料 25千円
2022 新規	農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト 【市事業名】 ①白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業 ②ディスカバリー白河農活事業	農業者	農政課	市内外の新規就農希望者に対して各種PR、就農体験、就農に向けた相談までを継続的に実施し、新規就農者確保に向けた推進活動を展開する。	3,323	1,342	2,684千円 (1)白河の大地が君を待つ！就農全力バックアップ事業 ①会計年度任用職員 報酬(時間外含む) 1,339千円 期末手当 271千円 勤勉手当 221千円 通勤手当 73千円 ②通信運搬費 15千円 ③イベント出展負担金 165千円 計 2,084千円 (2)ディスカバリー白河農活事業 ①就農体験活動指導員報償 490千円 ②印刷製本費(パンフ作成) 110千円 計 600千円 【対象外経費】 職員旅費 139千円 就農体験者への旅費等 500千円
県連携事業合計					4,502	1,897	